新機能および補足説明について

ネットワークビデオエンコーダー　DG-GXE500, WJ-GXE500

本書では、新機能の設定方法と制約事項などについて説明します。これらの機能については本書の内容を参照してください。また、本機に付属の取扱説明書もあわせてお読みください。

本機はソフトウェアのバージョンアップにより、下記の新機能の追加や仕様変更を行いました。

・ソフトウェア Ver.1.40

No.	機能	対応画面（ページ）	記載ページ
1	H.264 画像、MPEG-4 画像の初期設定を変更	JPEG/H.264画面（カメラ） JPEG/MPEG-4画面（カメラ）	2ページ
2	表示用プラグインソフトウェアでのライブ画 スムーズ表示を追加	JPEG/H.264画面（カメラ） JPEG/MPEG-4画面（カメラ）	2ページ
3	RS-485のプロトコル切り換え機能を追加	同軸/RS-485画面（カメラ）	2ページ
4	機能名称を変更（スナップショット、動作検知）		3ページ

・ソフトウェア Ver.1.56 (DG-GXE500), Ver.1.57 (WJ-GXE500)

No.	機能	対応画面（ページ）	記載ページ
5	独自アラーム通知先の通知先アドレス設定を変更	通知（アラーム）	3ページ
6	システムログに独自アラーム通知先エラーを追加	システムログ(メンテナンス)	3ページ

・ソフトウェア Ver.1.60

No.	機能	対応画面（ページ）	記載ページ
7	タイムゾーン設定に関する変更	NTP画面（サーバー）	4ページ

1. H.264画像、MPEG-4画像の初期設定を変更

（取扱説明書　操作・設定編［カメラ］ページ -［JPEG/H.264］タブ、［JPEG/MPEG-4］タブ）

H.264(1)、H.264(2)、MPEG-4(1)、MPEG-4(2)の次の設定項目の初期設定を変更します。

設定項目	従来	Ver. 1. 40以降
配信モード	固定ビットレート	フレームレート指定
リフレッシュ間隔	3s	1s

2. 表示用プラグインソフトウェアでのライブ画スムーズ表示を追加

（取扱説明書　操作・設定編　［カメラ］ページ -［JPEG/H.264］タブ、［JPEG/MPEG-4］タブ）

［プラグインソフトウェアでのライブ画スムーズ表示（バッファリング）］

表示用プラグインソフトウェアで本機の画像を表示する際の設定を行います。

On ：本機の画像を一時的にPCに蓄積し、より滑らかに表示します。

Off ：本機の画像をPCに蓄積せず、リアルタイムに表示します。

初期設定：Off

重要

・画像表示の遅延が気になる場合は、「Off」を選択してください。

3. RS-485のプロトコル切り換え機能を追加

（取扱説明書　操作・設定編　［カメラ］ページ -［同軸/RS-485］タブ）

［RS-485設定 - プロトコル］

カメラのRS-485制御コマンドを選択します。

Panasonic / Pelco-D / Pelco-P / Custom

初期設定：Panasonic

お知らせ

・Panasonic / Pelco-D / Pelco-P以外のRS-485制御コマンドを使用する場合は、「プロトコル」を「Custom」に設定し、FTPでコマンドテーブルを本機にアップロードしてください。アップロード完了後に、本機を再起動する必要があります。

・弊社製カメラでパン・チルト・ズームが動作しない場合は、「プロトコル」を「Custom」に設定して、コマンドテーブルをアップロードする必要があります。詳細は、パナソニックのサポートウェブサイト（http://panasonic.biz/security/support/info.html）を参照してください。

・コマンドテーブルのアップロード方法、および、カメラをRS-485制御できない場合については、パナソニックのサポートウェブサイト（http://panasonic.biz/security/support/info.html）を参照してください。

・本機の設定を初期化すると、コマンドテーブルも初期状態に戻ります。この場合、必要に応じて再度アップロードしてください。

4．機能名称を変更（スナップショット、動作検知）

次の機能の名称を変更します。

機能名	Ver. 1. 40以降
ワンショット	スナップショット
VMD	動作検知

5．独自アラーム通知先の通知先アドレス設定を変更

（取扱説明書　操作・設定編　［アラーム］ページ -［通知］タブ）

「通知先IPアドレス」を「通知先アドレス」に名称を変更し、IPアドレスに加えて、ホスト名を入力可能に変更しました。

「通知先アドレス」欄：通知先のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
入力可能文字：半角英数字、半角記号：．＿－
初期値：空白

6．システムログに独自アラーム通知先エラーを追加

（取扱説明書　操作・設定編　「その他」-「システムログ表示について」）

独自アラーム通知先エラーに関するシステムログを追加しました。

独自アラーム通知に関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
独自アラーム通知先エラー	通知先見つからず	・通知先の IP アドレスが間違っている可能性があります。通知先の IP アドレスの設定を再確認してください。 ・通知先がダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	DNSから通知先アドレス解決できず	・DNS サーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS 設定を再確認してください。 ・DNS サーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。

７．タイムゾーン設定に関する変更

（取扱説明書　操作・設定編　［サーバー］ページ －［NTP］タブ）

タイムゾーンの設定値を見直し、2014年10月時点の情報に更新しました。

都市	変更前	変更後
カラカス	GMT-04:00	GMT-04:30
ジョージタウン	GMT-03:00	GMT-04:00
ミンスク	GMT+02:00	GMT+03:00
スリ・ジャヤワルダナプラ・コッテ	GMT+06:00	GMT+05:30
マガダン	GMT+11:00	GMT+10:00

av0313-1114　PGQQ1075YA